

LOHASタウン実現プロジェクト

私は昨年度、履修生としてこのプロジェクトに参加し、今年度はTAとして関わりました。昨年度の活動からこのプロジェクトがどのように展開していくのに興味があり、もう1年TAとして関わらせてもらうことにしました。履修生のみなさんは、タイトルにある「LOHASタウン」を実現するために、まず「LOHASタウン」とはいかなるものなのか、対象としているけいはんな学研都市に適用するにはどのようなやり方がよいのかなど、考えなければならないことはたくさんあったと思います。また普段、授業に関わることのない他学部の学生とも関わることで、意思疎通の難しさを知るとともに、多面的なものの考え方ができるようになったのではないのでしょうか。そのことは、これからの人生においても必ず役に立つことだと思います。プロジェクト科目を通じて学んだことを忘れず、これからも積極的な姿勢で何事にも取り組んでほしいと思います。

子供が遊びながら遊び学べる 知育玩具の企画立案

このプロジェクトをメンバーとして一年、SAとして二年続けました。私自身の今年の目標としては「メンバーが楽しく学ぶ」ということを目標にして尽力していくつもりだったのですが、蓋を開けてみれば、私が何をしてもなく、積極的に意見を交わして主体的に取り組んでくれていたと思います。その理由としては、メンバーが教職課程やボランティアや塾講、各種ショーという機会で子供やおもちゃや教育に触れていて自分の意見を持っていたことがよかったのだと思います。

各々が学部学科を超えて課題に対して意見を出し合ったり教えあったりすることで、企画を膨らましたりまとめて形にしていく過程は、何年見てもよいなと思います。私自身も新しく知識や技術やまとめ方を学べました。

このプロジェクトを通して三年間で子供や他人や自分自身がどういったら楽しく学べるかを考えることができたと思います。その中でも私自身できたことは大切にして、できなかったことは課題にして、ぼちぼちいこうと思っています。これまでのメンバーもこのプロジェクトを通して、ほかの誰かに楽しく学べる場所や機会や道具を渡せたら、よいなと思います。

地域応援プロジェクト ～同志社から、スポーツの力で恩返し～

「スポーツでエンを！！」。これが、今年のスローガンです。この言葉は、応“援”、“en”joy、“縁”など、「スポーツに関わるすべての人が、その人自身にとっての価値を見出せる」という「スポーツの価値」を表現しています。今年のメンバーは、「自分にとってのスポーツの価値」を強くもって活動してくれました。スポーツと真摯に向き合うその姿勢は、私自身も学ぶことが多く、素晴らしいメンバーに恵まれたと感じています。これからも、プロジェクトでの経験や教訓を生かし、それぞれのフィールドで頑張ってください。みなさんの活躍を期待しています。

最後になりますが、本年度は、5年間プロジェクトに携わった私にとって最後の1年でした。過去のメンバーをはじめ、代表者を務めてくださった先生方、本プロジェクトの礎を築いてくださった先輩方、検討部会事務局の方々、そして何より、担当者として本プロジェクトを守り続けてくださった高橋仁美先生に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。5年間で得たたくさんの“縁”を心に留め、みなさまのご多幸を心よりお祈りいたします。

フォーミュラカーと共に成長しよう

この活動は1年間という短い期間で小型フォーミュラカーの設計・製作・走行を行うため、履修生にとってはとても厳しかったと思います。また、途中でメンバーが抜けてしまい、少ない人数で活動をしなけりばならなかったのも、より苦勞があったと思います。その中で、自分たちでできることを取捨選択すること、期日までにどうやって目標を達成するかマネジメント力など、実際にものづくりをしてみなければわからない、経験できないことを学べたと思います。ものづくりを行うことは、もしかしたら今後ないかもしれませんが、履修生のみならず、一年間を通して学んだことを様々なところで役立てることができていると思っています。

テーマパークの利用者満足度向上に関する企画立案プロジェクト

私はTAを通して履修生の成長を肌で感じることができました。この科目は専門知識を学ぶ授業とは異なり、普段では得られない楽しさ、嬉しさ、難しさ、苦しさがあります。利用満足度向上という目標に対して履修生が、誰に、どのように取り組むかを一から考えました。開始当初は、お互いに距離感があり、議論が交わせず苦勞しました。徐々にわだかまりがなくなり、実現に向けてプロジェクトは進みだしました。ところが、各自の役割に集中したために意見の食い違いが生じ、個々の力では成立しないという壁に当たりました。それでも、履修生らは目標に取り組む志を忘れず、自ら問題を打破し、春学期に提案した企画の導入調査を行うことができました。そして協力者から非常にありがたい感謝のお言葉を頂いたことは、このプロジェクトの大きな糧となり、喜びも与えてくれました。この科目を通して成長していく履修生に、私は的確なサポートすることができたかわかりませんが、TAをして本当に良かったです。学生の意見を尊重しつつ、対応していただいた株式会社ユー・エス・ジェイの講師の先生や技術部の方々、並びに協力者の方々には深く感謝申し上げます。この経験を活かして、さらなる活躍を期待しています。